

伊豆の国市の観光を取り巻く動向と課題

観光を取り巻く動向

- (1) 伊豆地域への観光客（特に宿泊客）の減少
滞在時間を延ばし、宿泊客の増加に繋げていく取組が求められています。
- (2) 交通基盤の整備による観光動向への期待と懸念
交通基盤の優位性を十分に活かして、誘客へ結び付けていく取組が求められています。
- (3) 公共交通機能の利便性を活かす誘客
鉄道及び旅行関連企業への働きかけや連携が求められています。
- (4) 市内観光施設への誘導・回遊ルートのご案内
回遊ルートの確立と適切な誘導により、滞在時間を延ばしていく取組が求められています。
- (5) 富士山・ジオパーク・韮山反射炉を活かしたPR
国内外からの観光交流客の拡大に向けた施策を戦略的に進めていくことが求められています。
- (6) 東南アジア諸国からの潜在観光需要への対応
日本らしさ、伊豆らしさのアピールや、受入態勢を強化していくことが求められています。
- (7) 地域の個性と選択肢の多い観光の充実
地域性のある個性的な観光を多くの選択肢として用意していくことが求められています。
- (8) 地域全体の“おもてなし”の底上げ
「その地域ならではの魅力づくり」を進めることで地域全体の“おもてなし力”を底上げしていくことが求められています。
- (9) 温泉地としての魅力の向上
温泉そのもの、また、個性のある温泉地の自然や歴史文化、そして、それらを大切にする温泉地の取組が重視されるといった、多様化する温泉ニーズへの対応が求められています。

伊豆の国市の観光の課題

- 課題1 市民パワーと多様な主体の連携が課題 **《市民活動》**
- 課題2 各資源の磨き上げと特徴を活かしあう取組が課題 **《観光資源》**
- 課題3 広域交通網の活用と円滑な域内交通の確保が課題 **《都市基盤》**
- 課題4 広域的な連携と魅力の差別化が課題 **《広域観光》**
- 課題5 発信戦略の共有と情報集約が課題 **《情報発信・PR》**